

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム第二朋寿

目標達成計画

作成日: 平成 30 年 1 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	家族とのコミュニケーションをスタッフ全員が取れているとは限らず、家族が本当に言いたい事柄を上手く引き出せていない。	・スタッフは、家族が簡単には法との気持ちを伝えられないことを察して、面会時の対応などでお互いに馴染みの関係を築いていく。 ・信頼していただける介護に努める。	・基本のマナー、接遇の研修を毎月の職員会議で行う(明るい笑顔、ハキハキとしたあいさつで迎える等)。 ・家族の安心や信頼につながるよう、ケアをもう一度基本から見直していく(朝礼にて環境整備・衣類の清潔・細部の身体の清潔・爪切り等について都度確認・指導していく)。	12ヶ月
				・家族に対し、入居者の日頃の様子や病院受診の結果など、月に1回は手紙に書いて送っているが、他の書類も同封しているため見逃している家族もいるのかもしれない。家族への伝達の仕方について、他の方法も含めて皆で見直し、我々の心も届くようにしたい。	3ヶ月
2	26	ケアプランに沿った記録が具体的に記述されていない。	タブレットの備考欄に、ケアプランに沿った具体的な記述を入れられるようにする。	・スタッフはケアプランを把握し、実践しなければならない。また、それを具体的に記録していかなければならない。このことを十分に理解し、実践できるように施設内研修を行う。 ・入居者一人ひとりのケアプランをいつも確認できるよう、詰所内の手の届くところへ置く(個人情報につき、カギのかかる引き出しに保管)。	12ヶ月
3	35	積極的な災害時の避難訓練がなされていない 災害時の備蓄が検討中である。	5階建てのうち2~4階が入居施設となっているため、災害時は5階まで避難するか、1階から屋外へ避難すべきか、消防署とも相談して決定していく(地震時と津波の時の対応)。	・布団、毛布、生活必需品(水・米・保存食等)は3日分程度は揃えておく(5階または1階に備蓄) ・各階(2~4階)の入居者のうち重度の方の避難はどうすべきか、具体的な避難方法について消防署と相談した上で、具体的な避難方法について消防署と相談した上で、管理者・主任で決定。その後、スタッフに周知していく。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。